

岐阜高島屋 十六銀 岐阜信金 県商議所連合会

県産品商品開発で連携



会見で協定書を掲げる(左から)岐阜高島屋の松本正樹社長、十六銀行の秋葉和人取締役常務執行役員、岐阜信用金庫の山口貴生常務理事、県商工会議所連合会の山田英治専務理事。岐阜市神田町、岐阜商工会議所

ブランド戦略協定締結

岐阜高島屋と十六銀行、岐阜信用金庫、県商工会議所連合会は27日、ブランド戦略に関する協定を結んだ。4者が県内全域から募った県産品を審査し、高島屋のネットワークで販売する。高島屋が地域の金融機

関や商工会議所と連携して商品開発を手掛けるのは初めての試み。

岐阜高島屋が県や岐阜市、岐阜商工会議所と今月2日に結んだ包括提携協定のうち、商業・産業振興の分野を4者で進める。

具体的には、金融機関や各商工会議所のネットワークを通じて県内の優れた特産品や伝統工芸品を募り、選考を通じて各商品のブラッシュアップを図る。募集にはテーマを設定。商品開発のほか、岐阜高島屋の目利きで既存商品をパッケージ化したコラボレーション商品の販売も検討している。

早ければ年内にも第1弾の公募を始める予定。年明けには選考会を開き、3月上旬までに岐阜高島屋の店頭で県産品の展示販売会を開く。

4者は27日、岐阜市神田

町の岐阜商工会議所で記者会見を開き、岐阜高島屋の松本正樹社長、同行の秋葉和人取締役常務執行役員、同金庫の山口貴生常務理事、同連合会の山田英治専務理事が出席。松本社長は「スピード感を持って取り組む。岐阜の地から日本に誇れるブランドをつくりたい」と話した。